【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-540386(P2009-540386A)
【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-046
【出願番号】特願2009-515447(P2009-515447)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｃ　7/06　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　3/10　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　1/08　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｃ　7/06
Ｇ０２Ｂ　3/10
Ｇ０２Ｂ　1/08
Ｇ０２Ｆ　1/13　５０５

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月3日(2010.6.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
付加倍率を有するプログレッシブ付加領域と、
調節可能な光学倍率を有し、電気エネルギ、力学的エネルギ又は力を加えることによって調節されたとき、前記プログレッシブ付加領域と光学結合する調節可能な動的光学素子とを具備し、
前記プログレッシブ付加領域の前記付加倍率が加えられたとき、前記調節可能な動的光学素子の前記光学倍率は、使用者の近距離の視界の矯正の付加倍率に実質的に等しい、使用者のための眼用レンズ。
【請求項２】
前記付加倍率は、前記使用者の近距離の視界の矯正の付加倍率よりも小さい請求項１の眼用レンズ。
【請求項３】
前記付加倍率は、前記使用者の近距離の視界の矯正の付加倍率の約５０％である請求項１の眼用レンズ。
【請求項４】
前記付加倍率は、前記使用者の近距離の視界の矯正の付加倍率の約３０％ないし約７０％である請求項１の眼用レンズ。
【請求項５】
前記プログレッシブ付加領域は、このレンズの前面に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項６】
前記プログレッシブ付加領域は、このレンズの裏面に配置されている請求項１の眼用レンズ。

【請求項７】
前記プログレッシブ付加領域は、このレンズ内に埋められている請求項１の眼用レンズ。
【請求項８】
前記動的光学素子は、このレンズの前面に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項９】
前記動的光学素子は、このレンズの裏面に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項１０】
前記動的光学素子は、このレンズ内に埋められている請求項１の眼用レンズ。
【請求項１１】
前記動的光学素子は、電気活性光学素子である請求項１の眼用レンズ。
【請求項１２】
前記動的光学素子は、メニスカスレンズである請求項１の眼用レンズ。
【請求項１３】
前記動的光学素子は、流体レンズである請求項１の眼用レンズ。
【請求項１４】
前記動的光学素子は、少なくとも１つの移動可能な構成要素を有する移動可能な動的光学素子である請求項１の眼用レンズ。
【請求項１５】
前記動的光学素子は、ガスレンズである請求項１の眼用レンズ。
【請求項１６】
前記動的光学素子は、変形可能なメンブレンを有するメンブレンレンズである請求項１の眼用レンズ。
【請求項１７】
前記付加倍率は、約＋０．５０ジオプトリないし約＋１．５０ジオプトリである請求項１の眼用レンズ。
【請求項１８】
前記光学倍率は、約＋０．５０ジオプトリないし約＋２．２５ジオプトリである請求項１の眼用レンズ。
【請求項１９】
前記動的光学素子は、約２４ｍｍないし約４０ｍｍの幅を有する請求項１の眼用レンズ。
【請求項２０】
前記プログレッシブ付加領域は、約１１ないし約２０ｍｍの長さのチャネルを有する請求項１の眼用レンズ。
【請求項２１】
フィッティングポイントを有し、
前記動的光学素子の上縁端は、前記フィッティングポイントの約１５ｍｍ以内に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項２２】
フィッティングポイントを有し、
前記動的光学素子の上縁端の少なくとも一部分は、このレンズの前記フィッティングポイントの上に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項２３】
フィッティングポイントを有し、
前記動的光学素子の上縁端は、このレンズの前記フィッティングポイントの上で、約０ｍｍと、前記動的光学素子の垂直方向の長さの約２分の１との間に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項２４】
フィッティングポイントを有し、

前記動的光学素子の上縁端は、このレンズの前記フィッティングポイントの上で、前記動的光学素子の垂直方向の長さの約８分の１と、前記動的光学素子の前記垂直方向の長さの約８分の３との間に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項２５】
前記動的光学素子は、使用者の目が前記動的光学素子の上縁部を通過するまで、活性化されない請求項１の眼用レンズ。
【請求項２６】
さらに、前記動的光学素子に設けられた混合ゾーンを具備する請求項１の眼用レンズ。
【請求項２７】
前記光学倍率は、ゼロでない複数の光学倍率間で調節可能である請求項１の眼用レンズ。
【請求項２８】
前記光学倍率は、正の光学倍率と実質的にない光学倍率との間で調節可能である請求項１の眼用レンズ。
【請求項２９】
前記動的光学素子は、活性化および非活性化されることが可能である請求項１の眼用レンズ。
【請求項３０】
前記動的光学素子は、前記プログレッシブ付加領域から離間されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項３１】
さらに、前記光学倍率を制御するためのセンサを具備する請求項１の眼用レンズ。
【請求項３２】
使用者が中間距離よりも遠いところを見たとき、前記センサは、前記動的光学素子を非活性化する請求項３１の眼用レンズ。
【請求項３３】
使用者が遠距離よりも近いところを見たとき、前記センサは、前記動的光学素子を活性化する請求項３１の眼用レンズ。
【請求項３４】
フィッティングポイントを有し、
前記動的光学素子が活性化されたときに、使用者が前記フィッティングポイントを通して見たとき、中間距離の視界の矯正が与えられる請求項１の眼用レンズ。
【請求項３５】
フィッティングポイントを有し、
前記動的光学素子が非活性化されたときに、使用者が前記フィッティングポイントを通して見たとき、遠距離の視界の矯正が与えられる請求項１の眼用レンズ。
【請求項３６】
前記動的光学素子は、前記プログレッシブ付加領域に対して中心からずれている請求項１の眼用レンズ。
【請求項３７】
半完成のブランクにより形成されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項３８】
前記動的光学素子の上縁部は、前記プログレッシブ付加領域の光学倍率の始まりの上に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項３９】
フィッティングポイントを有し、
前記動的光学素子の上縁部の少なくとも一部分は、前記フィッティングポイントの下に配置されている請求項１の眼用レンズ。
【請求項４０】
前記電気活性光学素子は、表面レリーフ回折素子を有する請求項１１の眼用レンズ。

【請求項４１】
前記電気活性光学素子は、画素化電極を有する請求項１１の眼用レンズ。
【請求項４２】
前記電気活性光学素子は、パターン化電極を有する請求項１１の眼用レンズ。
【請求項４３】
前記電気活性光学素子は、楕円形状を有する請求項１１の眼用レンズ。